

年齢 60歳代

性別 男性

診療科 循環器内科

介入項目 薬剤削除

事例詳細

改善要因 過去の特定健診情報を確認

経緯

- 2型糖尿病・高血圧の患者へのヒアリングにより、腎機能が低下していることが分かり、オンライン資格確認等システムで直近の特定健診の結果から、クレアチニンクリアランス値を推算し、データ上でも腎機能の低下を確認することができた。
- 今回、腎機能が低下している患者に禁忌や慎重投与のあるフィブラート系の薬（フェノフィブラート錠）が処方されていたが、腎機能低下の結果を医師に伝え、疑義照会を行ったところ、処方の取り消すことができ、禁忌を回避することができた。
- 患者がマイナンバーカードで受付を行い、過去の薬剤情報等の提供に同意した場合、オンライン資格確認等システムで患者の薬剤情報・特定健診情報等が閲覧できる。当薬局ではこれら情報を電子薬歴システムに取り込んだ上、確認を促すポップアップを表示する仕様としている。これによって上記のような検査値の確認やこれまで以上の網羅的な患者の薬剤情報の確認等、患者への医療安全向上につながっている。（同意取得が困難な場合でも、重複投薬等のアラートが発生した際には、従来通り患者への聞き取りを徹底し、重複投薬等の防止につながるような運用を行っている。）

マイナンバーカードを活用した特定健診情報の検査値の結果を閲覧することで、
患者さんの腎機能に応じた適切な薬の調剤を行うことができた。